

失敗知識活用スイート

Failure Knowledge Management Suite

失敗学の適用

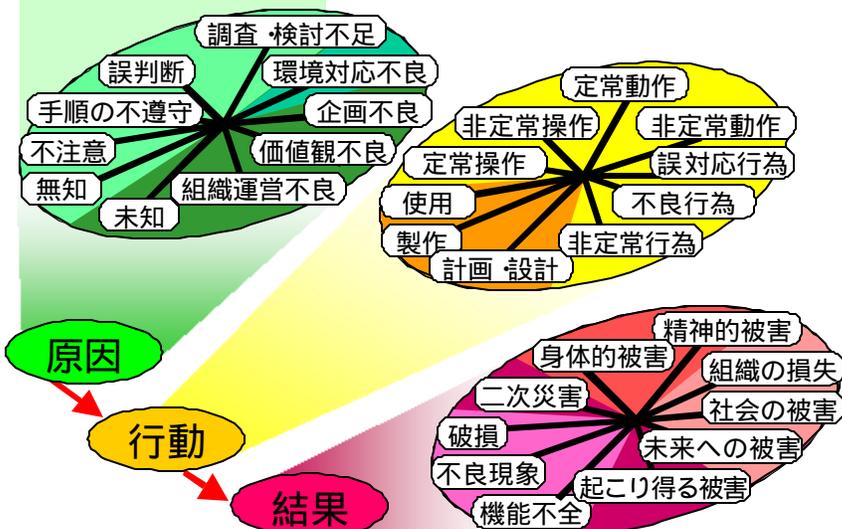
失敗事例の情報データを記録しておくことは重要です。その情報を有効に利用することは、もっと大切です。失敗知識活用スイートが提供する事例記録・解析・閲覧ツールを利用することで、読み手にとってわかりやすい情報提示と、組織全体で統一の取れた失敗知識を活用するための環境が自動的に実現されます。さらに、これから起こりうる失敗の予測までできるのです。

折角起こした失敗は、それをなるべく有効利用することです。それには、失敗事例に関する情報を読み手にとってわかりやすく記述することが大切です。わかりやすい検索のための環境も不可欠です。失敗知識活用スイートは、読み手にわかりやすい構造的な事例情報の編集、事例の特性解析、さらに効果的な検索環境の提供を実現します。

シナリオ

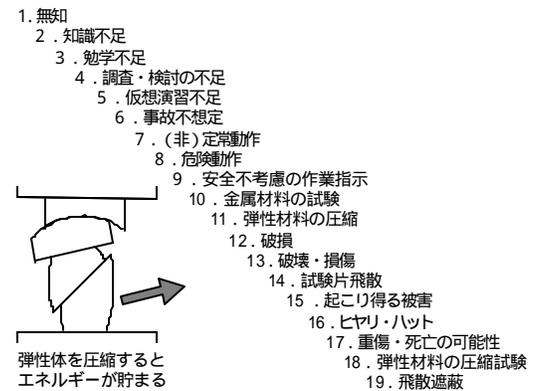
失敗に至る脈絡、すなわちシナリオを、各事例に定義することが重要です。シナリオは、「原因」、「行動」、「結果」の3段階で考えます。そして、各段をさらに詳しい言葉で表現します。事例編集者が使用する言葉を選択すると、シナリオが自動的に生成されます。シナリオは失敗に至る脈絡を表現する1本の言葉要素の連鎖なのです。

シナリオを定義する動作は、事例情報編集者が失敗事例についての考察を深める助けになるだけでなく、読み手が失敗の経緯を素早く理解することや、組織内の情報共有に大いに役立ちます。さらに、その特性解析により、失敗の予測、未然防止にも応用ができるのです。



代表図

言葉による事例の記述同様、失敗学ではイラストによる表現も重要視しています。失敗知識活用スイートでは、イラスト、写真、ビデオ、音声など、あらゆる種類の電子データを失敗事例に関連付けることができるように構築されます。利用者は効率的な検索のために代表図を作成します。代表図は、失敗事例を簡潔に表現した1枚のイラスト。これが、目視による検索を大いに助け、また、事例の内容を読み手に伝えるのに非常に効果的です。



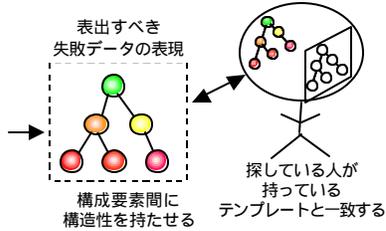
失敗知識データベース

失敗知識活用スイートは、先端のデータベーステクノロジーとユーザインターフェース技術を結合させて実現します。データベースは、その確実な動作が実証済みのリレーショナルデータベース、ユーザインターフェースは、標準ブラウザを使用。誰もが既に使っているツールによる環境構築ですので、特別なトレーニングも必要とせず、導入と共にすぐ、失敗知識を有効に活用する組織的な環境が構築され始めます。

データの収集は、少しでも早く始めた方が有利です。また、既存の電子データも失敗知識活用スイートの失敗知識データベースに取り込んで利用できるよう、コンサルテーションのオプションも用意されています。データベースは、そのままでは単なる情報の倉庫でしかありません。その情報を有効利用して初めて利益を生む財産となるのです。失敗をネガティブなもので終わらせるのではなく、プラスの財産としての蓄積を始めましょう。

失敗事例の記述は、「事象」、「経過」、「原因」、「対処」、「知識」、「総括」の基本6項目。さらに「背景」、「長期対策」、「よもやま話」、「後日談」の補足項目が読み手の理解を助けます。失敗知識活用シートを使用することで、基本6項目に加え、事例発生日時、場所などの必須情報の入力を支援します。

さらに、一見煩雑なシナリオ定義も、失敗知識活用シートのシナリオ定義ツールを使うことで極めて簡単に実現します。



事例情報入力ツール

「事象」、「経過」、「原因」、「対処」、「知識」、「総括」、「背景」、「長期対策」、「よもやま話」、「後日談」の項目ごとに事例入力ができます。また、必須項目の入力忘れなどないよう事例情報編集者を支援します。

シナリオ定義ツール

シナリオ定義は、失敗情報を有効活用するための重要な要素です。失敗知識活用シートでは、編集者が階層構造に整理されたリストの中から使いたい言葉をクリックすることでシナリオ定義に追加されます。

検索ツール

過去の事故 - 失敗事例のイメージを見ながら閲覧ができます。キーワード、分野別、日付などの細かい検索も実現されており、ニーズに合った、より近いシミュレーションが可能となります。

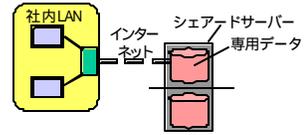
特長:

- ◆ 事例の知識化、共有化による失敗防止
- ◆ 組織内の失敗事例の解析・分析・閲覧
- ◆ シナリオの特性解析で、失敗傾向を分析
- ◆ 分野、検索条件、ソートなどのカスタマイズ
- ◆ オンラインで社内外ログインを管理
- ◆ WWW 利用時のセキュリティオプション
- ◆ 国際化のためのシナリオ自動英語表示

導入方法:

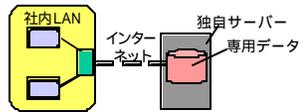
◆ シェアードホスティング

サイドローズ社管理のサーバー下に自社環境を構築。データベース内のデータは自社のみになるが、サーバーの他のリソースは他と共有。アクセスはインターネットを介する。



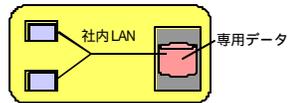
◆ 独自ホスティング

自社専用サーバーにデータベースを設置。サイドローズ社が管理、メンテナンスを行う。アクセスはインターネットを介する。



◆ 自社イントラネットへの環境設定

自社のイントラネットにデータベースを設置し、社内で管理、メンテナンスを行う。



使用環境:

OS	Windows 98, 2000, Me, XP
ブラウザ	IE5.0以上推奨
接続	128kbps以上推奨
解像度	600 x 800 以上推奨

お問合せ先:

